

春寒の候、地域・保護者の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、1月8日から3学期が始まり、早いものでひと月が過ぎました。1月は「いぬ」、2月は「にげる」、3月は「さる」と言われるくらい3学期はあっという間に過ぎてしまいますが、学年の総仕上げの大切な学期でもあります。

3年生にとっては、中学校最後の学期であり、これまでの努力の成果が実る学期です。高校入試もありますので、焦らず着実に学習に取り組んでほしいと思います。

1・2年生にとっても次の学年に進級するための大切な学期となります。1年生は、4月から2年生となり「先輩」と呼ばれます。2年生は、3年生となり、最高学年として明洋中学校の中心となります。どの学年にとっても、大切な3学期ですので1日1日を大切に過ごしてほしいと思います。

◇みごと金賞：田辺地区アンサンブルコンテスト

12月26日、紀南文化会館にて県吹奏楽連盟が主催する田辺地区アンサンブルコンテストが行われ、本校プラスバンド部が出場しました。コンテストの結果は、以下のとおりです。

○打楽器三重奏 金賞 県大会出場

北川 莉優 木下 真緒 千田 和佳奈

○管楽六重奏 金賞

堀本 芽生 佐野 暁保 中村 晏莉

芥子 ほのか 谷川 優 西尾 心

◇那須 明(なす あきら)教諭(52)

「文部科学大臣優秀教職員賞」 「県きのくに教育賞」受賞

本校の音楽の教師であり、プラスバンド部の顧問でもある那須明教諭(52)が、本年度の「文部科学大臣優秀教職員賞」と「和歌山県きのくに教育賞」の2つの賞を受賞しました。那須教諭は、音楽の授業や部活動を通して生徒に音楽の楽しさを味わいさせながら生徒の成長を促すとともに、本校や地域はもちろんのこと田辺市や和歌山県の教育の発展と充実に大きく貢献したことが認められ、受賞しました。



◇花いっぱいになぁ～れ！

1月19日(火)、寒い中でしたがNPO花つぼみの皆さんと本校のボランティアの生徒で花植えを行いました。今回は、体操部の皆さんがボランティアに参加し、国道42号線沿いと明洋中学校近くの花壇に花の植え付けを行いました。植えた花は、パンジーとビオラ、そしてチューリップです。春過ぎまで鮮やかな花を咲かせてくれると思います。楽しみです。



◎地域の方からお電話をいただきました！

コロナで心が荒みがちな昨今ですが、寒い中、沿道で一生懸命花植えをしてくれている中学生をみけました。うれしくて感動しました。(地域の女性)

励みになります。ありがとうございました。

西部

発行:西部公民館 館長 高地勝司
主事 津田祐司
電話:26-4925 FAX:25-6029
事務所:田辺市高雄一丁目23番1号
市民総合センター内

人権学習会 映画『こんばんはII』上映のお知らせ

現在、義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方や、不登校など様々な事情により十分な教育を受けないまま中学校を卒業した方、外国籍の方など多くの方が中学校で学び直すことを希望しています。

今回は、ドキュメンタリー映画『こんばんはII』(ナレーター 大竹しのぶ)を鑑賞し、夜間中学校を知り、『学ぶことは生きること。全ての人に学ぶ権利があること。』を確認しましょう。

◆日時 令和3年2月26日(金) 午後1時30分～

◆会場 西部センター 2階集会室

◆主催 西部公民館・西部センター

◆映画提供 夜間中学校と教育を語る会

先着30名！

【夜間中学とは？】

戦後の混乱期の中で、生活困窮などの理由から昼間に就労又は家事手伝い等を余儀なくされた学齢生徒が多くいたことから、それらの生徒に義務教育の機会を提供することを目的として、1947年(昭和22年)に中学校に付設された学級です。

昭和30年頃には、設置数は80校以上を数えましたが、就学援助策の充実や社会情勢の変化に伴い減少し、現在8都府県25市区で31校が設置されており、近年は日本国籍を有しない生徒が増加しています。(全体の約80%)一方で、これまでに文部科学省は、不登校などの事情から実質的に教育を受けられないまま学校の配慮などにより卒業した方で、中学校で学び直すことを希望する方や不登校となっている学齢生徒を夜間中学で受け入れることが可能であると示しています。

夜間中学は、義務教育を修了しないまま学齢期を経験した方や不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方や外国籍の方などの義務教育を受ける機会を実質的に保障するための様々な役割が期待されています。

年齢や国籍その他の置かれている事情に関わりなく、教育の機会が確保されること等を基本理念に、学齢期を経過した方で小中学校等における就学の機会が提供されなかった方のうち、就学機会の提供を希望する方が多く存在することを踏まえ、すべての地方公共団体に夜間中学における就学機会の提供等の措置を講ずることが義務付けられ、政府は全ての都道府県に少なくとも一つは夜間中学が設置されるよう教育機会の確保に関する施策を推進しています。

※和歌山県内には、公立の夜間中学はありませんが、2000年(平成12年)から和歌山市においてボランティアで「岩橋夜間中学校」を運営しています。

防災講演会「地震が発生するメカニズム」を開催

西部地区防災訓練実行委員会では、去る12月15日（火）に元東京大学地震研究所非常勤研究員の桑野 亜佐子先生をお招きし、「地震が発生するメカニズム」と題して、南海トラフ地震の発生確率、地震に対して今できること、地震の最中にできること等についてご講演をいただきました。



【講演の内容（抜粋）】

- ❖地震は地球表面のプレートが絶えず動き、そのエネルギーの蓄積と放出から発生する。南海トラフの地震は、今後30年以内に80%程度の確率で発生が予測される。
- ❖震源は、点ではなく面であり、震源断層は徐々に破壊されていく。破壊される断層の面積が大きいほど、マグニチュード（地震の規模）は大きくなる。
- ❖津波は、地震により海底が隆起又は沈降し、押された水が海岸線や河川をさかのぼることで起こり、風で起こる波とちがいが水の量が圧倒的に多い。
- ❖マグニチュード8クラスの地震が南海トラフ巨大地震の想定震源域内で発生した場合、次の巨大地震に備えて一部の地域で引き続き1週間程度避難行動を取ることが推奨される。
- ❖紀南地方は、震度6以上で3分以上の揺れが続く。立っていられなく、動けない状態であるので頭を守って揺れが収まるのを待つ。揺れが収まったら、一緒にいた家族や仲間の安否を確認し周りの様子をよく確認しながら屋外へ避難すること。

★非常用持出袋について

1 外出時用

普段持ち歩くかばんに、メガネ、常備薬、懐中電灯、水、羊羹、携帯トイレ、ホイッスル等を入れておく。

2 非常持出袋

3日間過ごせるだけの備蓄品を準備しておく。（避難の際に自分で担ぐことのできる量）

3 長期避難用（外部から支援が来るまで耐える）

1週間分の食料、卓上コンロとガス、水、新聞紙、着替え、衛星用品（ウエットシート）、ランタン、乾電池、簡易トイレ等を備えておくことが重要。

新型コロナウイルス感染症に関連した人権への配慮について

新型コロナウイルス感染症に対して不安を抱く中、人権侵害に当たる悪質な行為が見受けられます。新型コロナウイルス感染症は、誰もが感染する可能性があることを理解し、人権に配慮した冷静な判断を心掛けていただきますようお願いいたします。

いかなる場合でも、不当な差別、いじめ等は決して許されません。

【相談窓口】

❖みんなの人権110番（法務省 全国共通人権相談ダイヤル）

0570-003-110（平日 8時30分～17時15分）

❖コロナ差別相談ダイヤル（県）

073-441-2563 FAX 073-433-4540

（平日 9時～17時45分）

田辺第三小学校 学校だより

3学期始業式【1月8日（金）】校長先生のお話より

新しい年、令和3年（2021年）を迎えました。家のお手伝いはしっかりできましたか。きまりを守り、規則正しい生活はできましたか。この冬休みはあまり外へも出かけず、家でゆっくりと過ごした人も多かったのではないかと思います。

お正月には、新しい1年の目標をしっかりと立て、そして今、その目標に向かって努力（頑張り）をスタートさせていることでしょうか。この後、教室で担任の先生やお友だちと一緒に、今年目標と3学期頑張ることについてたくさん話し合ってください。

さて、令和3年は「丑年（うしどし）」です。

牛といえば、おっとりとした草を食べているのんびりとした姿が思い浮かびます。でも実はとても力持ちで、日本では昔から荷物を運んだり、大変な農作業をしっかりと手伝ってくれたり人間を助けてくれる貴重な労働力でした。

また、今ではステーキや焼き肉・牛乳・バター・チーズ・ヨーグルトなど人が健康に生活するためには欠かせない大切な動物です。

牛の真面目によく働く姿が「誠実さ」をあらわし、縁起の良い動物として十二支に加えられたともいわれています。

そういったことから、丑年は先を急がず一步一步着実に物事を進めることで、これから発展する前触れ・芽が出るというような年になると言われています。結果を求める時期ではなく、結果につながる道をコツコツと積み上げていく時期とされています。

今年は、黙々と自分の目標をこなすことが将来につながると考えてもいいかもしれませんね。

3学期は、今の学年の『仕上げ』そして次の学年に向けた『準備』をするとても大切な学期です。特に6年生は小学校生活最後の学期です。6年間の『総仕上げ』と中学校に向けた『準備』に一杯がんばり、晴れて卒業の日を迎えてほしいと思っています。

最後にお願ひです。今のクラスの仲間と過ごす残り3ヶ月、人に迷惑をかけたり、困らせたり、悲しませたりせず誰一人つらい思いをすることなく、みんなが楽しく思い出に残る学級・学年・学校にしていきたいましよう。

今年も、まだしばらくの間はコロナとの戦いが続きそうです。手洗い・消毒・マスクの着用をしっかり行い3学期も元気に過ごしてください。

一つ一つの努力の積み重ねを大切に、この寒い3学期の間に十分に力を蓄えて春には大きな美しい花を咲かせてください。

田辺第三小学校では、

＊じりつ（自立・自律）できる子

＊何事にも粘り強く取り組む子

＊人の気持ちがわかる子

＊自分も人も大切にできる子

＊地域の一員として取り組む子

の育成をめざして諸活動に取り組んでまいります。そのためには、学校・保護者の方々・地域の方々三位一体となって進むことを大切にしたいと考えています。今後ともよろしくお願ひ致します。

ご連絡

例年、1月の参観日に併せて、育成会主催により実施されていた教育後援会ですが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のために、今年度は開催を見合わせました。ご理解の程よろしくお願ひ致します。